



一般社団法人徳島青年会議所

# 中長期ビジョン

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- 01 はじめに
- 02 中長期ビジョンとは
- 03 2017-2022社会の変化と課題
- 04 2022-2027未来予測
- 05 3つの課題
- 06 徳島青年会議所が提示する新たな価値観
- 07 過去を繋ぐ。未来を紡ぐ。
- 08 ひとづくり
- 09 まちづくり
- 10 組織づくり
- 11 徳島青年会議所とSDGs
- 12 まとめ
- 13 おわりに

# 01

## はじめに

medium-to long-term vision.



徳島青年会議所の設立趣意書には

「青年は高度社会への推進力であり、祖国日本の生成発展への道もまたわれわれ青年の双肩にかかっています。われわれはこの自ら誇りとする青年の意気と情熱を確信して互に団結して相助け、戒め、その知性と体力の向上によって将来における経済社会を担うための用意をし、その指導力の養成に努め、この重責にこたえるため、ここに徳島青年会議所を設立するものであります。」と記載されています。

徳島青年会議所は設立当初より奉仕・修練・友情の三信条を基盤とし、青年としての英知と勇氣と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げるための運動を起こして参りました。

先輩諸氏が紡いでこられた歴史や伝統、多岐に渡る連携基盤の上で、徳島青年会議所の更なる飛躍と、先人が築き上げた素晴らしい徳島を次代の人々へと繋ぎたいと思います。

近年は、60周年を迎えた2017年に10年計画として策定された中長期計画を基盤に活動を行って参りましたが、我々を取り巻く社会の情勢は目まぐるしく変化しています。

本年、65周年を迎える節目の年に徳島青年会議所が目指す方向性を定め、70周年に向けた道標となる「中長期ビジョン」へアップデートし、未来へビジョンと言葉を紡いでいきます。

徳島青年会議所設立趣意書

**徳島青年会議所設立趣意書**

青年は高度社会への推進力であり、祖国日本の生成発展への道もまたわれわれ青年の双肩にかかっています。

われわれはこの自ら誇りとする青年の意気と情熱を確信して互に団結して相助け、戒め、その知性と体力の向上によって将来における経済社会を担うための用意をし、その指導力の養成に努め、この重責にこたえるため、ここに徳島青年会議所を設立するものであります。経済は人類社会の基礎であり、われわれ青年で経済事業にたずさわる者は、広く同志呼び集い、力を合わせて我が国経済の進歩に努めると共に、後進県徳島に清新なかつの機運をじよう成し風勢発展の礎となるべきだと考えます。

今や経済活動は国際的となり、我が国経済も広く世界との関連において成りつつあります。大きく眼を世界に注ぎ、常に知性を備え、青年のこたわりのない強い友情の力を信じ、日本青年会議所あるいは国際青年会議所の諸君とも相提携し自らを育みかつ国際社会にも貢献しようではありませんか。

われわれはかかるやむがたい意欲と信念に基き、ここに徳島青年会議所を設立しようとするものであり、広く有識の同志のご賛同を期待します。

昭和三十三年三月八日

徳島青年会議所  
発起人一同

## 中長期ビジョンとは

medium-to long-term vision.

青年会議所はより多くの会員に成長の機会を提供するため、年度毎に理事長をはじめとする組織の編成が行われています。

そして、理事長が定めた基本理念・基本方針に基づいた事業計画を立て、地域をより良くするために活動しています。その中で、徳島青年会議所として一貫性のある運動を展開し、明るい豊かな社会を実現するために中長期ビジョンを策定します。

### 65周年中長期ビジョンの構成

[ 分析と課題抽出 ]

60周年に策定した中長期計画で抽出された3項目「人口問題、環境問題、進化する社会」について分析します。

- 2017年-2022年社会の変化と課題  
過去5年の検証を行い、社会の変化と課題を抽出します。
- 2022年-2027年 未来予測  
抽出した社会の変化と課題から未来予測を修正します。

### 課題から価値観を提示

分析された課題を基にどうする必要があるのかを考えます。課題を解決するための価値観を提示します。

### 徳島青年会議所が提示する新たな価値観

新たに提示された価値観を用いて徳島青年会議所ができる事を考えます。

### 繋ぐ。紡ぐ。

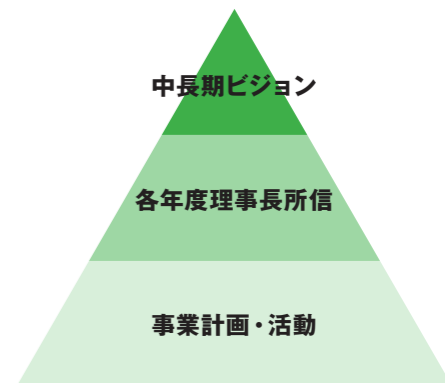
65年の歴史を現在へと繋ぎ、また未来へと少しずつ紡いでいくことをコンセプトとします。

### ひとつづくり・まちづくり・組織づくり

「ひとつづくり・まちづくり・組織づくり」3つの項目に対して提示された4つの価値観を掛け合わせ12の指標を導きます。

[ 運用 ]

- 活動  
中長期ビジョンに沿った活動を行います。各年度の理事長所信は本ビジョンを基に作成されます。
- 検証と見直し  
各年度毎の検証を行い指向性を理解します。数年間を通年で検証し今後の活動指針を定めます。社会変化に沿って適宜見直しを行います。



# 2017-2022社会の変化と課題

medium-to long-term vision.

## 60周年に掲示された課題の見直しを行います

### 人口問題

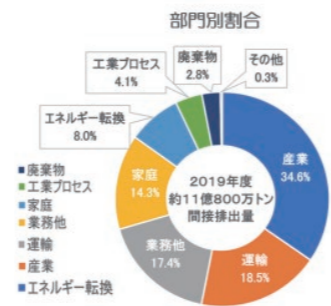
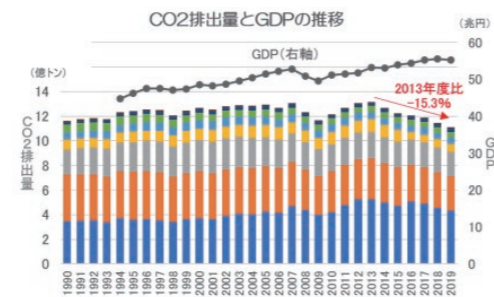
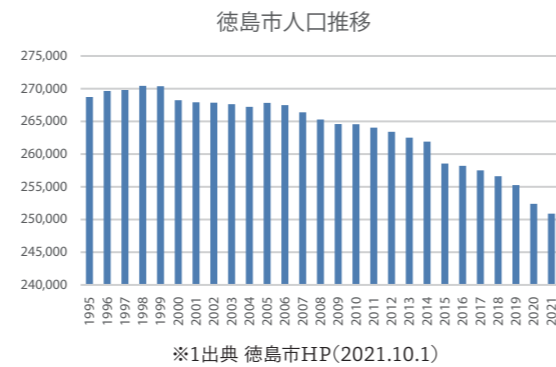
- 人口減少  
人口減少問題は日本全国の問題として考えられています。徳島市においても、人口は1999年をピークに減少に転じており、少子高齢化や労働人口の低下が問題視されています。
- インバウンド  
東京オリンピック・パラリンピックをはじめ、全国的に期待されていたインバウンド事業の拡大は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、期待されていた効果を創出できませんでした。現在は厳しい制限のもと、外国人観光客の受け入れが再開されています。

### 環境問題

- 南海トラフ地震  
脅威は依然継続しています。その被害は東日本大震災よりも広範囲に及ぶとされています。市町村単位の規模ではなく、国家を揺るがす規模であることが想定されているため、防災や災害のシミュレーションが活発に行われてきました。
- エネルギー  
昨今、アメリカにおけるシェールオイルの減産や、不安定な社会情勢による天然ガスの供給と流通の見通しがたっていないため、原油他エネルギー価格の高騰が続いています。
- 地球温暖化  
地球温暖化による異常気象が無視できない状況となった事により、欧州を中心に脱炭素化の動きは加速しています。炭素税、カーボンニュートラルといった国家間の政策も重要な要素となっています。

### 進化する社会

- オンライン  
対面活動を控える行動変容によりオンラインツールを使用した会議、商談、コミュニケーションが加速した。
- 新たな市場  
仮想通貨等のブロックチェーン技術の発達。スマートフォンでのアプリ開発やハード・ソフトを組合せた総合的なサービスは1次、2次、3次産業をまたいで存在感を高めています。
- 自動化  
単純労働の無人化、自動化は着実に進んでいます。労働人口の減少を補うために実用化が期待されている分野も多くあります。



# 2022-2027未来予測

medium-to long-term vision.

## 70周年に向けた課題を考えます

### 人口問題

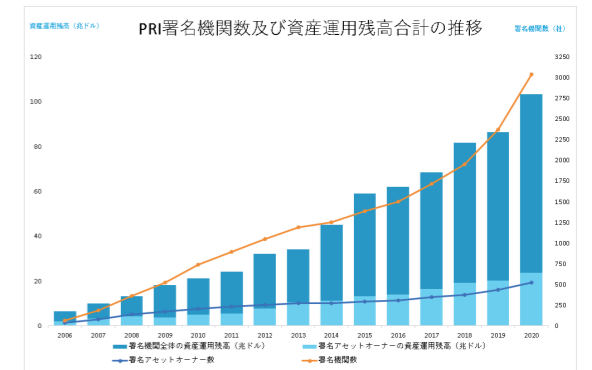
- 人口減少  
少子化による廃校もしくは合併、地方における公立病院の統廃合が行われると予想されます。大学を開かれた場として活用する動きがあります。
- インバウンド  
2020年から続く新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、改めてインバウンドや観光産業の見直しが進むことが予想されます。

### 環境問題

- 南海トラフ地震  
これからも防災や災害のシミュレーションの継続は予想されますが、別の観点として、復興回復の力、スピード等被害が起きた後の回復力(レジリエント)について考えることが重要となります。
- エネルギー  
原油価格の高騰に伴う輸送コストの増加や、サプライチェーンの分断による需給バランスに変化が起こるなど、複数の外的要因によるインフレが予想されます。
- 地球温暖化  
欧州を中心とした気候変動対策は益々加速されると予想されます。エネルギー問題とも関わる内容ですが、環境に配慮している企業に資本を集めようとするESG投資や大量消費を見直す等の価値転換の動きは温暖化対策と同時に資本を集中させる意味もあります。

### 進化する社会

- オンライン  
数年で加速したオンラインツールの活用はこれからも重要性を増すと考えます。一方、対面での価値も再認識されていくでしょう。代替できるもの、できないものの棲み分けが進むと考えられます。
- 新たな市場、価値  
宇宙開発、仮想通貨、NFT等新たな市場が開拓される余地があります。「メーカー」「商社」「小売」「サービス」・・・といった業界を超える動きも加速すると予想できます。
- 自動化  
労働人口の減少を補うため、益々技術発展が進むポジティブな側面があります。規制緩和が重要な分野として、人口過疎地にこそ優位性があります。



# 2022-2027未来予測

medium-to long-term vision.

3つの課題とそれに向き合った上でどうする必要があるのかを考えます

## 人口問題

未来予測の上でも人口減少の推移は大きく変化するわけではありません。しかし、人口減少の中でも一際重要な労働人口の低下は人手不足を補うための技術革新と自動化を推進する力となります。また、海外からの労働者の受け入れも進んできています。インバウンドを見直す動きの中で関係人口の増加も目指す必要があります。様々な要因で変化していく社会に対応しながら徳島にあるものを考え、徳島を持続可能となるべく運動を行っていく必要があります。



## 環境問題

南海トラフ地震は広範囲に渡る問題として行政や地域とのつながりをより強く意識する必要があります。その際に回復力にも目を向けなければなりません。また、エネルギーや地球温暖化に対してはより大きな視野を持った上で、持続可能性と向き合い、足元からできることを考え実行していく必要があります。



## 進化する社会

定着したオンラインツールを用いながらオンラインでもできること、オフラインでしかできないことを考え見直す必要があります。また、技術の発達による新たな市場にも目を向けなければなりません。その中で常に新しい技術と異なった環境に置かれた個々の視野を取り入れることは、とても重要だと考えます。徳島の利点を活用し取り残されることなく未来を見据えた運動展開をする必要があります。



### 価値観の抽出

- 技術革新・自動化・新しい技術→ **進化**
- 徳島を持続可能・持続可能性→ **持続可能**
- 行政や地域とのつながり・徳島の利点→ **活性化**
- 関係人口の増加・個々の視野→ **多様性**

# 徳島青年会議所が提示する新たな価値観

medium-to long-term vision.

「必要性」の中からでてきた価値観をもとにできることを考えます

- 人口問題
- 環境問題
- 進化する社会



- 持続可能性
- 活性化
- 進化
- 多様性

### 持続可能性を高めるアプローチを行います。

- 人口問題  
人口減少を受け入れ、少ない人口での社会の在り方を考えます。
- 環境問題  
足元からできることに目を向け地域と地球環境の改善に努めます。

### 活性化を促進します。

- 人口問題  
徳島にあるヒト・モノ、徳島青年会議所がもっているヒト・モノその他、文化、土壌を活用し、関係人口の増加を目指します。

- 環境問題  
大きな災害や気候変動に向き合うためには、大きな地域（範囲）で考える必要があります。徳島青年会議所は各地青年会議所との繋がりをネットワークを駆使し土壌を整えます。

- 進化する社会  
都心になく、地方にあるものを最大限に活用します。

### 進化を続けます。

- 人口問題  
労働人口の低下は人手不足を補うための技術革新と自動化を推進する力となります。変革の起点であると肯定的に捉えます。
- 進化する社会  
最新のツール、概念を取入れ、学ぶ姿勢をとります。技術の発達に遅れをとってはならない危機意識を醸成します。固定概念に捉われず柔軟に組織改革を図り、組織とともに個人も成長をします。

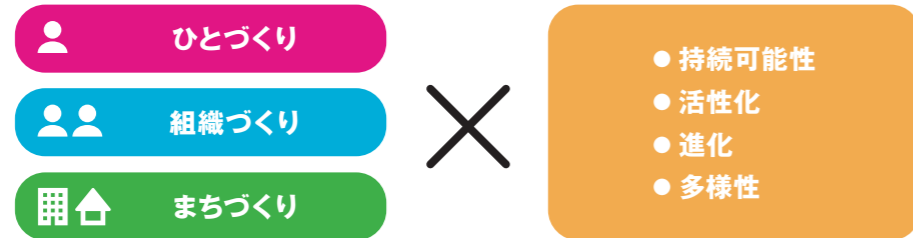
### 多様性を認め、採り入れます。

- 人口問題  
関係人口の増加を目指す、背景や育った環境が違う人との関わりが多くなります。相互理解を深める事、寛容さを保つ事に努めます。
- 環境問題  
住んでいる地域により環境の問題は大きく異なります。生まれ育った環境の違いを活かすために、個々の経験と知恵を最大限引き出します。
- 進化する社会  
SNS、WEBツールの普及により様々な人々の生活が可視化できるようになりました。これまでふれることのなかった価値観や視点が認識できるようになった社会において、積極的に多様性にふれていきます。

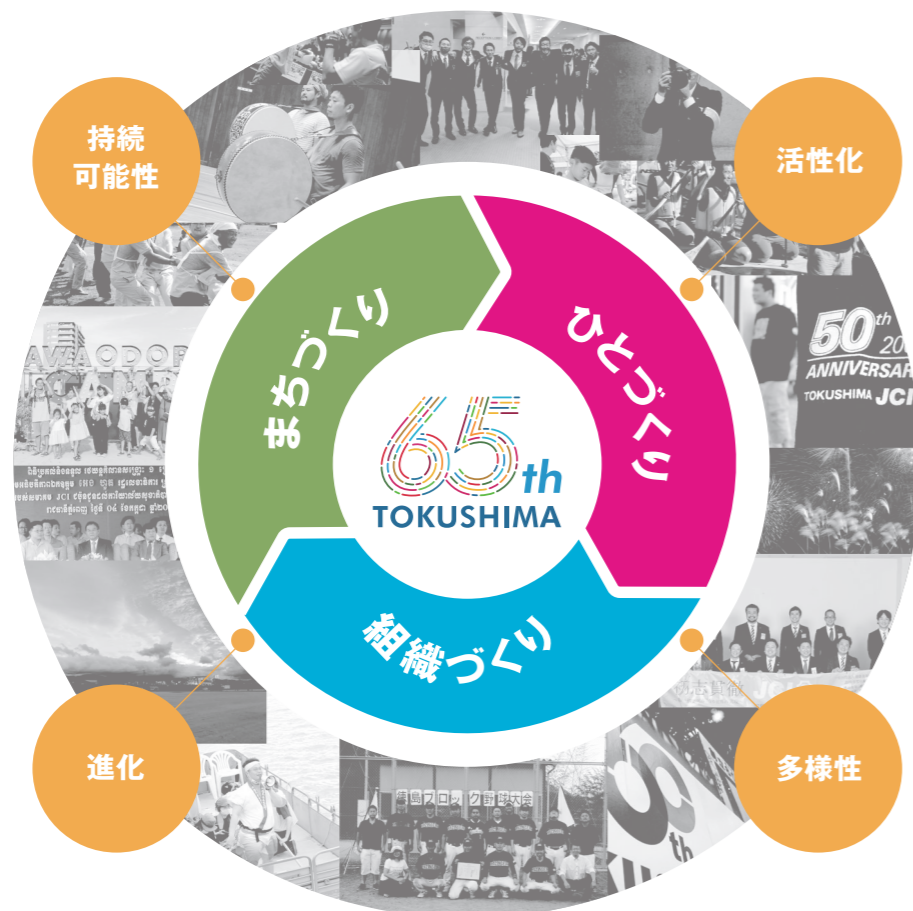
4つの価値観をそれぞれ、ひと、まち、組織に内包させれば2027年に向けて我々の歩むべき方向性が見えると考えます。徳島青年会議所は未来のために、ひと、まち、組織と4つの価値観を繋ぎます。

# 過去を繋ぐ。未来を紡ぐ。

medium-to long-term vision.



65年の過去を現在と繋ぐ。  
 組織の方向性を現在の価値観に繋ぐ。  
 人と人を繋ぐ、徳島青年会議所と他団体を繋ぐ。  
 全ては未来に向けて紡がれていく。



# ひとづくり

medium-to long-term vision.



## 持続可能性

- 地域のリーダーを育成する  
 求心力を持つリーダーは長期的な影響を地域にもたらします。  
 影響力のある次代のリーダーを継続的に育成します。

## 活性化

- 人と人との繋がりを活性化する  
 徳島青年会議所が交流の核となり活発なコミュニティと強固なネットワークを構築します。

## 進化

- 自ら学び行動する人をつくる  
 新たな挑戦ができる環境を整備し、挑戦する人を支援します。  
 学び行動する人と共に学び、共に歩みます。

## 多様性

- 人の多様性を認め、互いに高めあえる人をつくる  
 個々の先入観や思い込みに気付く場を提供し、様々な背景、経歴、出自を持った人たちと互いに高めあえる人をつくります。

# まちづくり

medium-to long-term vision.



## 持続可能性

- 住み続けられるまちを目指す

災害、未知の感染症、地球環境の悪化など、危機は隣り合わせにあります。防災だけではなく、被災時の減災や回復力に目を向けた運動を行います。

## 活性化

- 地域資源の活用と文化を継承する

まだ気付いていない徳島の魅力や価値を活かした運動を行います。徳島の文化の新しい継承方法を模索します。

## 進化

- 進化の拠点となるまちを創造する

技術開発に寄与するまちを目指す事は地域貢献に繋がります。都市部では不可能な社会実験等、地方ならではの環境を活用します。

## 多様性

- 多様な背景を受け入れるまちを目指す

それぞれの個性に目を向け、相互理解を深めることで許容を促進し、個性として活躍できるまちを目指します。

# 組織づくり

medium-to long-term vision.



## 持続可能性

- 地域の中で存在感を高め続ける

徳島青年会議所の特異性を理解し、徳島青年会議所にしかできないことを追及し続けます。

## 活性化

- 会員の成長によって組織を活性化させる

徳島青年会議所の核である会員の成長を促進します。われわれの個々の成長は組織を活性化し、社会を活性化します。

## 進化

- 地域を牽引する組織であり続ける

地域に新たな技術・情報・手法を持ち込むことが徳島青年会議所のすべきことと捉えます。最先端に触れ続ける組織であり続けます。

## 多様性

- 多様性をもって可能性を広げる

多様性を戦略として採り入れ、組織のアプローチの拡張を図ります。可能性を広げるために、多様性を最大限利用します。

# 徳島青年会議所とSDGs

medium-to long-term vision.

徳島青年会議所は SDGs に取り組んできた先駆的な組織です。過去5年の実績と照らし合わせを行います。これからもビジョンに SDGs を内包した上で運動を起こします。

2017.08.12	AWAODORI CAMP2017 - 阿波おどりキャンプ -	9	11	
2017.08.12	60周年基調講演	4	11	17
2017.09.10	大人の背中 BATTLE	4	8	17
2018.09.03	とくしま花火コンペティション	9	11	
2018.9.15	徳島子育てEXPO	3	4	17
2018.09.17	徳島スポーツフェスティバル	3	17	
2018.10.15	Tokushima Cycling Parties	9	15	
2019.07.14	とくしまeスポーツフェスティバル - 闘電街 -	5	9	11
2019.7.7-9.23	阿波みらいアカデミー	4	8	17
2020.07.26	ひょうたん島クルーズ徳島JC阿波踊り	11	10	
2020.11.01	オンライン合同企業説明会【STEP UP TOKUSHIMA】	8	9	17
2021.08.08	デジタルチッタ2021	4	8	9
2021.09.19	阿波良場	8	9	11

# 12

## まとめ

medium-to long-term vision.

今回は 60 周年中長期計画を継承しながら、新たな 4 つの価値感のもと捉え直しを行いました。「ひとづくり・まちづくり・組織づくり」という 3 つの項目と「持続可能性・活性化・進化・多様性」の 4 つの項目を表にしました。1 枚にまとめることで、分かり易さや、目にする機会を増やすことを目的としています。策定して終わりでは無いビジョンは今後、活動の中核を担う為、会員の理解があり、はじめて意味があります。まとめの頁では理解の深度と露出に寄与したいと考えています。

## 過去を繋ぐ。未来を紡ぐ。

### 持続可能性

- 地域のリーダーを育成する
- 住み続けられるまちを目指す
- 地域の中で存在感を高め続ける

### 活性化

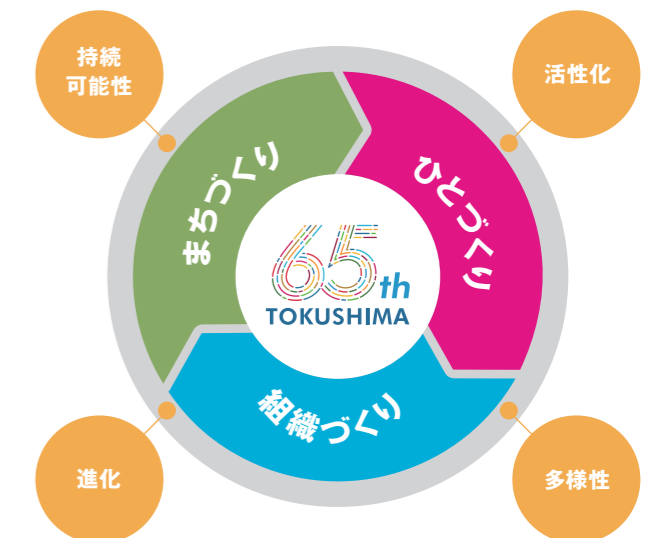
- 人と人との繋がりを活性化する
- 地地域資源の活用と文化を継承する
- 会員の成長によって組織を活性化させる

### 進化

- 自ら学び行動する人をつくる
- 進化の拠点となるまちを創造する
- 地域を牽引する組織であり続ける

### 多様性

- 人の多様性を認め、互いに高めあえる人をつくる
- 多様な背景を受け入れるまちを目指す
- 多様性をもって可能性を広げる



# 13

## おわりに

### medium-to long-term vision.

これまで徳島青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現を目指して、様々な運動を展開してきました。今日迄の65年間で、「価値観」は大きく変化し、ライフスタイルも多様になり、地域のニーズや課題にも大きな変化がありました。また、ICTや新技術の発達により、地方ならではの付加価値の創造も進んできています。だからこそ、我々は地域により良い変化をもたらす変革の起点として、産・官・学・民と連携を強化し、信頼を築き上げるとともに協働することで、これからも地域の課題解決に主体性を持って取り組んでいきたいと考えます。

60周年に策定された中長期計画をアップデートするにあたり、多様に変化する社会を我々がどのように変えていくのか、また地方都市から世界へどう発信できるのか、どのような「徳島」を未来を担う子どもたちに残せるかを模索し、「持続可能な徳島の発展」を考えてきました。

これからのまちづくり・ひとづくりに「DX」、「SDGs」、「D&I」が大きく関わってきます。徳島県では6G、Society 5.0への対応はすでに始まっています。先進技術を使った地域の活性化へと繋げる試みは徳島が先陣を切ることで、新たな地方の価値への取り組みになると期待されています。環境問題や災害はこれから増々大きくなる問題です。そこで、地方の特性を生かした実証実験と検証が行われています。全国的にみても有益かつ存在感のあるトピックを徳島県は有しています。徳島青年会議所においても多様性に向き合いながら、新たな価値観に触れていく。

その中で熟議し挑戦することは、組織の存在価値を高めることに繋がります。

我々徳島青年会議所は「今」を強く発展させるとともに、これからの未来を担う若者、次世代の子供たちへと繋ぐ唯一無二の団体であることを目指し、これからも前進し続けます。

### 策定の流れ

2021.11	2021年度 中長期計画 提言書授与
2022.2.8	第一回ONE FOR JAPANカリキュラム
3.1	徳島県総合政策課 ヒアリング
3.8	第二回ONE FOR JAPANカリキュラム
3.10	第1回公開委員会(過去5年の検証→5年後の未来予測→徳島青年会議所にてできること)
3.15	徳島市企画制作部 ヒアリング
4.4	第三回ONE FOR JAPANカリキュラム
4.11	第2回公開委員会(徳島青年会議所にてできること→5年前から変える事、変えない事)
4.13	徳島文理大学 ヒアリング
5.9	第四回ONE FOR JAPANカリキュラム
5.20	四国大学 ヒアリング
6.2	徳島大学 ヒアリング
6.6	最終回ONE FOR JAPANカリキュラム



一般社団法人徳島青年会議所

## 中長期ビジョン

企画・立案

一般社団法人徳島青年会議所  
2022年度 65周年ビジョン委員会

出典一覧

※1 徳島市 HP (2022.2.23)

[https://www.city.tokushima.tokushima.jp/shisei/toukei\\_johou/jinkousetaisu\\_tokei/](https://www.city.tokushima.tokushima.jp/shisei/toukei_johou/jinkousetaisu_tokei/)

※2 国立環境研究所 (2022.3.2)

<https://www.nies.go.jp/gio/archive/ghgdata/index.html>

※3 PRI (2022.3.2)

<https://www.unpri.org/>